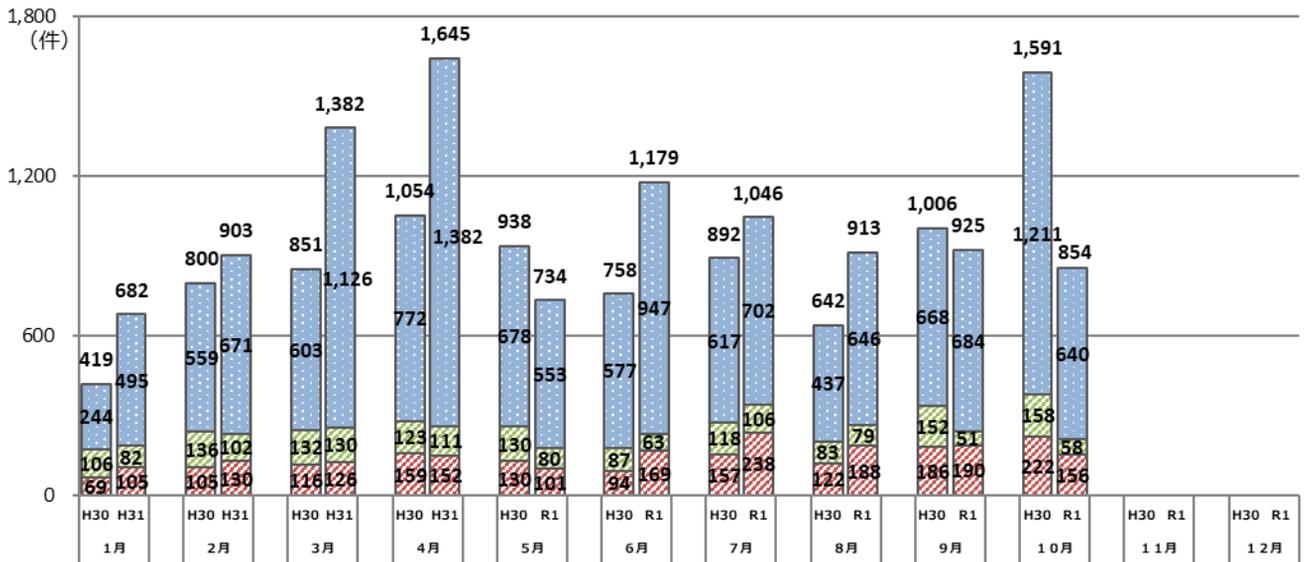




## 大阪府内の特殊詐欺認知状況【10月末】

### アポ電等の認知件数

※ アポ電等とは、特殊詐欺（詐欺・恐喝及び窃盗）の犯人が発信したと思われる電話、メール（SMS）、葉書（封書）のこと。



10月のアポ電等の認知件数は、9月と比べて約7.7%（71件）減少し、854件で、そのうち約74.9%（640件）は自己看破、約6.8%（58件）は第三者により未然に防止されています。

しかし、被害の認知件数が全体の約**18.3%**（156件）と、**2割近くを占める**ことから、被害防止への取り組みを引き続き強化する必要があります。

10月末時点でのアポ電等の累計は、昨年と比べて**1,312件増加**しています。

	H30	R1	増減
アポ電等	8,951	10,263	+1,312
自己看破	6,366	7,846	+1,480
未然防止	1,225	862	-363
被害認知	1,360	1,555	+195

### 特殊詐欺（詐欺・恐喝）の被害認知状況

	H30 10月末	R1 10月末	増減
認知件数	1,242	1,278	+36
被害金額(千円)	2,908,652	1,857,940	-1,050,712

#### 【10月中に認知件数が多かった手口】

- 1 役所・銀行などを騙り、「還付金の手続き」等と言って被害者に**ATMを操作させ、犯人の口座へお金を振り込ませる手口**
- 2 役所・銀行などを騙り、還付金の手続き名目で**キャッシュカードをだまし取る手口**
- 3 百貨店（家電量販店）・銀行協会などを騙り、口座の保護名目で**キャッシュカードをだまし取る手口**

### 特殊詐欺（窃盗）の被害認知状況

	H30 10月末	R1 10月末	増減
認知件数	118	277	+159
被害金額(千円)	149,577	318,069	+168,492

#### 【10月中に認知件数が多かった手口】

- 1 百貨店（家電量販店）・銀行協会などを騙り、口座の保護名目で**キャッシュカードをすり替えて盗む手口**
- 2 警察官・金融庁などを騙り、口座の保護名目で**キャッシュカードをすり替えて盗む手口**
- 3 役所・銀行などを騙り、年金関係の手続き名目で**キャッシュカードをすり替えて盗む手口**

■ 10月末現在、特殊詐欺（詐欺・恐喝）の認知件数は昨年より36件増加しました。特殊詐欺（窃盗）の認知件数も159件増加しており、特殊詐欺全体では**195件の増加**となります。

■ 10月末現在、特殊詐欺被害者の年齢・性別を見ても、80歳代の女性の被害が最も多くなっています。平成30年中の特殊詐欺被害者は70歳代の女性の被害が最も多く、男性も昨年と比較して80歳代の被害者が増加傾向にあり、昨年と比較して、より高齢な被害者が増加していると言えます。周囲の方々への注意喚起をお願いします。